

## 世界に通用する包材の検査・製造・開発 産業用フレコンバック

プラスチック源末、医薬品源末などの粒子、あるいは鉄くずなどの小さな固形物を船などで輸出する際の包材となる袋を作成しています。

(財)日本船用品検定協会から、九州で唯一認定資格をもらい、UN（国際連合）規格の認定機関として、袋の強度検査を行うことができます。また、クリーンルームを使った品質の保持をすることで、医薬品源末や危険物の運送用に使用する製品の安全性を徹底チェックしています。

### セールスポイント

#### ●検査

危険物を輸出する場合の容器は、国連加盟国間の統一規格により定められている。UN（国際連合）は、海上の人命、船舶の安全を確保する観点から、容器検査制度を義務付け、その合格品にUNマークを表示することとしている。当社はそのUNマークの試験機械を購入し、試験機関として登録されている。そのため、東南アジア一円から検査申請がある。

#### ●製造

大分工場のみで月1万袋、海外でOEMを行っているものが月2万袋、計3万袋を出荷している。自社製品についても、UNマーク認定基準に達するものを作成している。

#### ●開発

自社しか作り得ないもの、例えば積載率を上げるためにサイコロ状になる袋（オランダの特許を活用し、ニュージーランドでOEM製造、負荷部分には自社と三菱化学が開発した特性素材を使用）、詰め込むときに空気が抜けていく袋（特許）など、用途に応じて袋を開発。製品の高付加価値化を図る。

#### ●障がい者が従業員の半数を占める。



折りたたみ作業風景



当社商品

### 経営者の一言

代表取締役  
友松 三樹男

全員の力と技術でその時代に要求される製品を作り出します。

業 種 産業用包材容器の製造販売  
代 表 者 代表取締役 友松 三樹男  
設 立 昭和37年  
資 本 金 2,000万円  
従業員数 90人  
所 在 地 〒879-0101 大分県中津市今津1101番地の1  
T E L 0979-32-0200  
F A X 0979-32-5861

事業内容 ●PP・PEコンテナバック及び各種包装容器の製造販売

工場見学…要相談  
インターンシップの受け入れ…可能（高校生）

※内容は平成21年3月時点